

平成25年行政事業レビューシート

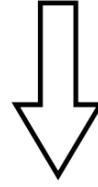
(厚生労働省)

事業名	アセスメント・計画作成プロセス調査事業		担当部局庁	障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	障害福祉課地域生活支援推進室		阿萬 哲也		
会計区分	一般会計		政策・施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、障害福祉サービス等の利用者に係るアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)に資するため、アセスメント、利用サービスの組合せ、利用頻度等に関するデータを収集・分析し、利用者の状況に応じた標準的なサービスの支給量・種類の相関関係を見いだすことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①障害福祉サービス利用実績や利用者の状態像に関する詳細な基礎データの収集 ・調査方法：調査専用ソフトを開発・配布し、市区町村の業務データから「無作為・3障害別」に抽出 ・収集データ：支給決定の内容(支給量)、利用実績(給付実績)、アセスメント結果、概況調査の結果、医師意見書の内容、障害程度区分(二次判定結果)など ②統計的な分析を可能とするための基礎データの分析・コード化 ・利用者の状況(家族環境など)に応じた標準的なサービスの支給量及び種類の相関関係の分析 ・アセスメント、概況調査票、医師意見書等から統計的な分析を可能とするための項目化(コード化)など							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	49	49	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	/	49	49	
	執行額		/	/	/	/	/	
	執行率(%)		/	/	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	当事業は、障害福祉サービス等の利用者に係るアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)を目的としており、数値成果実績を示すにはなじまない。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	アセスメント、利用サービスの組合せ、利用頻度等に関するデータの収集・分析件数		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	10,000
					()	()	()	
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	障害者総合支援事業費補助金	49	49					
計	49	49						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、アセスメント等の詳細なデータの収集・分析を行い、制度の見直しを検討するものであり、国の責任において25年度に実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	障害福祉サービス等の利用者に係るアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)のために実施する事業であるため、地方自治体に委ねることは出来ない。なお、事業実施団体を公募(企画競争)により選定し、民間団体の知見等の活用を図る。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○本事業は、障害福祉サービス等の利用者に係るアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)のために25年度に実施する必要がある。</p> <p>○事業の実施にあたっては、競争性を確保するため、公募(企画競争)により事業実施団体を選定することとしている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、障害福祉サービス等の利用者に係るアセスメント・計画作成手法の確立・標準化(質の向上)に資するための経費として必要なものであり、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0080	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
49百万円



【公募型補助】
事業実施団体
1法人

- ①障害福祉サービス利用実績や利用者の状態像に関する
詳細な基礎データの収集
- ②統計的な分析を可能とするための基礎データの分析・

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					